

土地改良事業変更計画概要書

第1章 目的

本ため池は、庄原市川手町一帯の農地をかんがいするため池である。近年堤体の老朽化が進み、堤体から漏水している状況で、堤体余裕高もとれておらず、常に堤体決壊の危険にさらされている。

本ため池の整備を行うことにより、受益農家及びため池下流側住民の安全安心の確保、かんがい用水確保及び管理上の安全確保を図る。

なお、今回の計画変更は、事業費に変更があったため行うものである。

第2章 地域の所在及び現況

1. 地域の所在及び地積

所 在	庄原市川手町			
地 積	田	畑	そ の 他	計
	11.4ha	－ha	－ha	11.4ha

2. 地域の現況

(1) 地形

本地域は、庄原市の南西部に位置し、江の川水系に属する標高 238m～249mに広がる農振農用地区域である。

(2) 土質及び土壌

周辺の地質は、中生代白亜紀後期の流紋岩が基盤岩として分布し、その上位を新生代第四紀の谷底堆積物が被覆している。

(3) 気象

気候は県北に位置しているため、高冷地帯となっており温度差が大きい。年平均気温は 12.5℃、年間降水量は 1,497 mmである。

(4) 水利状況

本ため池から取水し、コンクリート水路等を通じて農地へかんがいしている。

(5) 営農状況

区分	農家（戸）			耕地面積（ha）		
	総農家	販売農家	自給的農家	合計	田	畑
庄原市	(4,676) 3,680	(3,733) 2,854	(943) 826	(6,937) 6,867	(6,000) 5,950	(937) 917
受益地	25	(17) 19	(8) 6	11.4	11.4	-

(6) 地域環境の概況

平坦地域から急峻な山間地域となる地形的要因による豊かな自然や上流域となる河川環境、石灰岩質による特異な地質など、多様な自然環境により多くの動植物の生息・生育が確認されている。田園環境整備マスタープランにおいては環境配慮区域に指定されている。

第3章 基本計画

1. 工事計画の内容

地区名	工 種		数 量 及 び 規 模
建目池	堤体工		(張ブロック) 前法面：布製型枠、張芝 後法面：下流法先ドレーン、張芝 堤 長： 63.9m 堤 高： 9.7m
	洪水吐工		正面越流式 L=52.1m 越流幅 B=6.35m
	取水施設工	斜樋工	直径 500 mm塩ビ管（コンクリート巻立） L=10.52m
		底樋工	(ヒューム管（コンクリート巻立）) 直径 800 mmプレキャスト管 L=47.7m

2. 環境との調和への配慮

環境調査により、準絶滅危惧種、要注意種及び駆除すべき種が確認されている。整備中は汚濁水など既存水路からの流出を抑制するほか、施工に影響する種については、池内において保護を行うほか、駆除すべき種については、下流域に流下させないよう山地内を利用して駆除を行う。また、施工中保護すべき動植物が確認され、影響が懸念される場合、その都度検討を行い、対応する。

第4章 管理の要領

1. 管理者

庄原市土地改良区の維持管理規程に基づき管理する。

2. 管理すべき施設の種類の

(1) 堤体

(2) 洪水吐

(3) 取水施設及び付帯施設

3. 管理に要する費用

受益者が地積割で負担する。

第5章 換地計画の要領

該当なし

第6章 費用の概算

(337,050)

(16,050)

452,550千円(内地方事務費(21,550千円を含む。))

第7章 効用

単位：千円

区 分	年効果額	年増加農業所得額	備 考
食料の安定供給確保に関する効果	△420	14	維持管理費節減効果 (農業生産)
農業の持続的発展に関する効果	(8,594) 8,704	(2,268) 5,068	災害防止効果 (農業関係資産)
農村の振興に関する効果	(21,983) 23,550	-	災害防止効果 (一般資産)
多目的機能の発展に関する効果	(22,187) 21,329	-	災害防止効果 (公共資産)
計	(52,344) 53,163	(2,282) 5,082	

想定被害額

単位：千円

作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	被害合計額
(10,794) 10,762	(90,348) 95,153	(90,690) 91,926	(495,225) 484,757	(490,700) 535,236	(1,177,757) 1,217,834

第8章 他の事業との関係

該当なし

第9章 計画概要図

別紙のとおり